

2008年猪苗代湖の上位層気楼発生状況

北海道・東北層気楼研究会
星 弘之

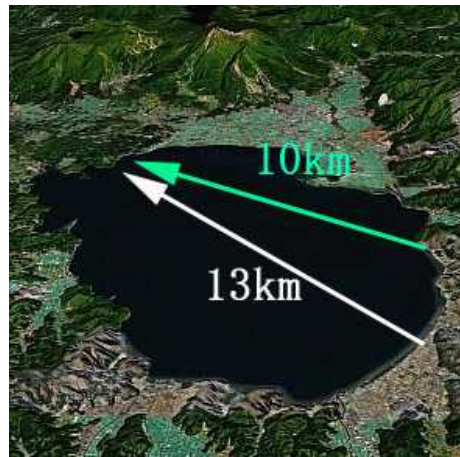
1. 観測状況

2006年の無人カメラによる観測結果とアメダスを参考に発生を予測、観測日を限定、現在まで6日間観測し5日間発生を確認した。(4/29、~~4/30~~、5/1、5/2、5/4、5/18)
発生時間帯はすべて午前中で、今までの観測結果と同じであった

今年を対象物までの距離を今までより長くして、今までに無い変化のある層気楼を期待して観測地点を変更した。10km 13km

5月4日			
時	気温	風速 m/s	風向
1時	4.1	1	北東
2時	3.6	3	北東
3時	3.5	2	北東
4時	3.6	3	北東
5時	3.1	2	北東
6時	3.6	2	東北東
7時	5	1	東
8時	8.9	2	南南西
9時	11.3	2	西南西
10時	13.1	3	南西
11時	15.2	6	西
12時	15.7	7	西北西
13時	17	5	西
14時	17.8	4	西
15時	17.9	2	南西
16時	18.5	6	北西
17時	18	3	西北西
18時	16.3	2	西北西
19時	13	1	北東
20時	10.8	2	東
21時	9.4	2	東北東
22時	9.3	3	北東
23時	9.2	4	北北東
24時	7.7	3	東北東

【2006年5月4日】

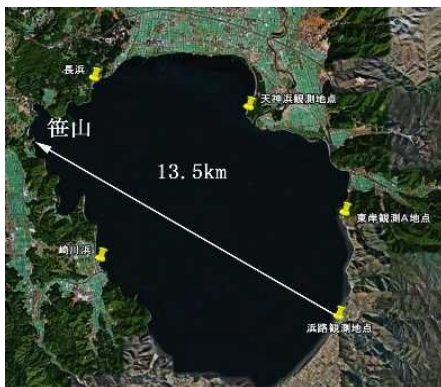


【観測地点】

2. 特徴ある層気楼の発生

笹山方面のテーブルマウンテンもどき発生

5月4日、猪苗代湖全域にわたって層気楼が発生していた、笹山付近では湖水面だけでなく山の頂付近（高度差約1000m）も層気楼化しており、新しい発見であった。



【観測地点】



【笹山地点の湖水面と頂上部の層気楼】

近距離での層気楼観測

天神浜より観測した小黑川河口付近の層気楼

今までの観測では、最短距離の層気楼発生は5 km程度であったが5月1日、猪苗代湖北岸で観測されたものはその半分の2.5 kmと驚くほど近距離で発生していた。



【観測地点】

【層気楼化した車】

3. 今年最大の上位層気楼（浜路より崎川浜を観測）

5月4日、6時頃猪苗代ICを降りると猪苗代湖は一面の霧、上空は快晴であった、過去にも同様の状態で層気楼が観測出来た為観測地点を霧の少ない地点へ移動して霧の消滅するのを待った、7時30分頃になると霧が南から消滅し始め崎川浜方面の建物が見え始めると今までにないくらいクリアな風景があった。

その後層気楼化、上方に反転する様子をハイビジョンカメラに記録することが出来た。



下の画像：ほぼ実景

以上